

長久手市行政評価票 (A票：事業評価票)

事業番号	90	事業名	中央図書館事業	担当部課	教育部中央図書館
基本情報	第6次総合計画・基本目標	2 子どもが元気に育つまち		決算書ページ	—
	行政改革指針・重点課題	1 経営改革の推進		会計区分	一般会計
	法定受託事務の有無	無		予算区分(款一項目)	
	その他(関係計画、要綱等)	有	図書館法、第2次長久手市子ども読書活動推進計画	9-4-4 図書館費	
	事業開始の背景、経緯等	市民の読書活動を支える場として、平成4年に開館した。			
市民・民間事業者との連携協働の可能性	両者と協働可		(両者と協働不可の場合はその理由)		

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 図書館法に基づき、図書等を収集、整理、保存し、市民に提供する。
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民を始めとする図書館利用者。貸出対象は、市在住、在学、在勤、在園者と広域地区利用者(瀬戸市、尾張旭市、日進市、豊田市、名古屋市長久手市、守山区)。
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民の読書環境の向上

項目	単位	区分	H28年度(2016)	H29年度(2017)	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)	
			事業費(A)	千円	予算	89,493	92,309	96,705
			決算	86,851	88,861	93,885	94,146	
人件費(B)	千円	決算	34,531	46,719	57,342	56,601		
総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	121,382	135,580	151,227	150,747		
事業対象の数(D) (R2年度は想定数)	人		84,946	87,512	84,643	85,455	85,700	
対象あたりコスト(C/D)	千円		1	2	2	2		

成果指標 (事業の意図を反映する指標)	単位	区分	H28年度(2016)	H29年度(2017)	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)
			市内利用者の貸出点数	点	目標	308,110	320,400
		実績	310,802	311,642	322,229	303,403	
(指標の設定根拠)			(数値目標の根拠)				
長久手市民への個人貸出の貸出総点数の増減が、長久手市民の利用状況を端的に表しているため。			(R2.3.31の人口)×(H28~R1の市民一人あたりの貸出点数のうち最大値を微増)=59,499人×5.51点=327,800点 新型コロナウイルス感染拡大防止による臨時休館2か月を除き、327,800点×2/12=273,200点				
(前年までと変更した場合はその理由)							

これまでの振り返り	目標達成状況・分析コメント	(成果指標等の目標に対する達成状況・分析状況や進捗状況など) 新型コロナウイルス感染拡大防止による臨時休館を3月に実施したため、市内利用者の貸出点数はH30年度よりも約5.8%減少した。1日あたりの貸出点数はH30年度の1,131点と比較し、1,167点で増加している。
	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) ブックスタート事業、小中学校・児童館との連携事業など、子どもへの読書活動の推進事業を重点的に実施し、子どもの読書環境の充実を進めている。また、11月からホームページをリニューアルし、読書履歴の記録や検索方法の充実化、図書情報の項目増設など、Webサービスが充実した。
	改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) 職員による郷土行政資料をはじめとした資料調査・相談体制の強化を図り、ビジネス支援や高齢者支援など大人向けのサービス向上のための対策が必要。

事業を構成する事務事業①	事務事業①	中央図書館運営事業						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)
	(1) 市民参加の延べ人数 (図書ボランティア登録者数)	人	見込	90	85	85	90	90
			実績	80				
	【アクションプラン】 (2) 中央図書館での小学生までの貸出冊数【単年】	冊	見込	140,000	143,000	146,000	150,000	151,000
			実績	123,902				
(3) 【アクションプラン】 郷土資料等の資料数【累計】	冊	見込	8,000	8,200	8,400	8,600	8,800	
		実績	8,138					
<備考:活動の概要(R1年度(2019))>							今後の方向性	拡充
<ul style="list-style-type: none"> 図書ボランティア参加によるおはなし会を69回開催 図書修理・返本書架整理ボランティアは開館日に随時参加 郷土資料数は前年度から約500冊増加 								

事業を構成する事務事業②	事務事業②	中央図書館管理事業						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込					
			実績					
	【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】 (2)		見込					
			実績					
(3) 清掃委託日数	日	見込	310	308	307	305	306	
		実績	310					
<備考:活動の概要(R1年度(2019))>							今後の方向性	拡充
日常清掃及び毎月の全館清掃(カーペットクリーニング、床面洗浄、ガラス清掃等)を実施								

事業を構成する事務事業③	事務事業③	講座等企画事業						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)
	(1) 市民参加の延べ人数 (図書ボランティア講座参加者数)	人	見込	10	10	20	20	20
			実績	34				
	【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】 (2)		見込					
			実績					
(3) ギャラリー企画展示回数	回	見込	3	3	3	3	3	
		実績	3					
<備考:活動の概要(R1年度(2019))>							今後の方向性	改善・見直し
<ul style="list-style-type: none"> 読み聞かせボランティア養成講座(全4回)14人参加 図書修理ボランティア養成講座(全3回)20人参加 ギャラリー企画展示(現在美術展、中学生美術展、折り紙展) 								

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 第2次子ども読書活動推進計画の目標達成のため、学校や児童館等との連携事業を拡充していく。図書ボランティアと引き続き協働しながら、市民参加型の図書館運営を継続する。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 中央図書館での小学生の貸出冊数を、学校連携事業の強化や、PRなどを積極的に実施するなどをし、年約3,000冊増加させる。郷土資料を年間200冊収集し、充実をはかる。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	<ul style="list-style-type: none"> 行政改革の重要課題事業第1弾に基づく管理の見直しについて取り組んでください。 ICチップ、セルフレジの導入にあわせて、窓口職員の削減を検討してください。 雑誌スポンサー制度による広告収入の獲得に努めてください。合わせて、施設を活かした財源確保に取り組んでください。
	内部意見への回答	